

地域医療支援病院業務報告要旨

I 概要

病院名	フリガナ	オカヤマシツシムビョウイン
		岡山市立市民病院
所在地		岡山県岡山市北区北長瀬表町三丁目20番1号
管理者氏名		院長 今城 健二
承認年月日		平成25年10月11日
業務報告書提出日		令和7年10月1日

II 業務報告

対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
------	--------------------

1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件	紹介率 65 % 超、逆紹介率 40 % 超	
紹介率	$① / (② - (③ + ④ + ⑤)) \times 100$	83.0 %
※患者数は延べ人数	①紹介患者数	9,750 人
	②初診患者数	21,960 人
	③地方公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数（初診に限る）	3,741 人
	④休日又は夜間に受診した救急患者の数（初診に限る）	6,478 人
	⑤健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数（初診に限る）	0 人
逆紹介率	$⑦ / ((② - (③ + ④ + ⑤)) \times 100)$	122.2 %
※患者数は延べ人数	⑦逆紹介患者数	14,357 人

2 共同利用の実績

高額医療機器共同利用件数	1,242件
共同利用病床数	8床
共同利用病床利用率	19.1%
共同利用施設・設備	開放病床8床、医療機器（MRI2台、CT2台）、講義室、患者相談室（5室）
登録医療機関数	71機関

3 救急医療の提供の実績【（1）又は（2）のどちらかを選択すること】

（1）救急患者数

救急搬送による救急患者数	5,097人 (2,639人)
救急搬送以外の救急患者数	11,581人 (1,714人)
合計（うち初診患者数）	16,678人 (4,353人)

※括弧内は、入院を要した患者数

(2) 救急医療圏（2次医療圏）人口における救急搬送患者数割合

A：救急用又は患者輸送用自動車により搬入した救急患者の数 (初診患者のみ)	人
B：救急医療圏（2次医療圏）人口※	人
C： $A/B \times 1000 > 2$	(小数点第1位まで記入)

※2次医療圏人口に関しては総務省統計局により実施された直近の国勢調査の人口（該当2次医療圏における市区町村人口の総和）を用いること。

(3) 救急用又は患者輸送用自動車所持台数

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

4 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

研修の内容	・岡山市立市民病院病診連携研修会（3S会） ・緩和ケア推進委員会研修会 ・公開クリニカルパス大会 ・がんサポーターボード ・在宅医療コラボ講座 ・市民公開講座 ・リウマチ教室特別講演会	
地域の医療従事者への実施回数	14回	
合計研修者数 ※院内外の延べ参加人数	637人	
研修体制	研修プログラムの有無	有
	研修委員会の設置の有無	有
	研修指導者数	15人
研修施設	多目的ホール（1階）、事務室（1階）、講義室（2階会議室）、会議室（3階）	

5 診療並びに病院の管理運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者	院長	
管理担当者	入退院管理支援センター 統括センター長	
診療に関する諸記録の保管場所	医事課、サーバー室	
病院の管理及び運営に関する諸記録の保管場所	共同利用の実績	地域医療支援課
	救急医療の提供の実績	総務課
	地域医療従事者向け研修の実績	地域医療支援課
	閲覧実績	個人情報保護委員会
	紹介患者に対する関係帳簿	医事課

6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者	院長		
閲覧担当者	個人情報保護委員会 副委員長		
閲覧に応じる場所	医局		
前年度の総閲覧件数			7件
閲覧者別延べ件数	当該病院に患者を	医師	7件
	紹介しようとする	歯科医師	0件
	地方公共団体		0件
	その他		0件

7 委員会の開催実績

委員会の開催回数	4回		
委員会の概要	①令和6年 5月16日 第42回岡山市立市民病院地域医療支援病院運営委員会 ②令和6年 8月 8日 第43回岡山市立市民病院地域医療支援病院運営委員会 ③令和6年11月14日 第44回岡山市立市民病院地域医療支援病院運営委員会 ④令和7年 2月13日 第45回岡山市立市民病院地域医療支援病院運営委員会 (1) 地域医療支援病院としての業務報告について ア 紹介率・逆紹介率について イ 医療機器の共同利用・開放病床について ウ 救急医療について エ 研修について (2) その他		

8 患者相談の実績

相談を行う場所	患者相談室 1・2・3・4・5		
主たる相談対応者	医師1名、看護師4名、薬剤師2名、MSW1名、事務2名		
相談件数			19,813件
相談の概要	・退院支援、受診相談、医療費について、各種福祉制度について、がん相談 他		

9 地域医療支援病院に求められるその他の取組（任意）

（１）病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無		有
評価を行った機関名、評価を受けた時期	・（財）日本医療機能評価機構 一般病院２（令和７年８月に受審し結果待ち）	

注）医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

（２）果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無		有
情報発信の方法、内容等の概要	・地域医療支援病院として、患者の紹介・逆紹介等により地域の医療機関と医療連携を推進し、医療機器の共同利用・開放病床や救急医療、地域の医療従事者への研修等を通じて、地域の医療機関を支援していくことを、ホームページ、広報誌、医療機関訪問のうえＰＲ、院内掲示等により、地域の医療機関へ情報を発信している。	

（３）退院調整部門

退院調整部門の有無		有
退院調整部門の有無概要	・院内統一の退院支援システムがあり、入院時スクリーニングにより、退院困難事例は地域医療連携室後方支援の看護師・MSWが病棟退院支援看護師と協働で退院支援を行っている。患者・家族・病院スタッフからの情報収集、課題・問題点の抽出、介護保険サービス等の社会資源の活用等を行い、アセスメントを実施し、退院支援カンファレンスや退院前カンファレンス等、院内外の高職種との連携により、患者さんのサポートに務めている。	

（４）地域連携を促進するための取組

地域連携クリティカルパスの策定		有
	①策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 ・脳卒中地域連携パス、大腿骨頸部骨折地域連携パス 高齢化に伴い急増する脳卒中・大腿骨頸部骨折といった、長期の療養・リハビリテーション・在宅介護を必要とする疾患を持つ患者について、急性期病院と回復期リハビリ病院、維持期病院が継ぎ目なく連携することによって、患者が円滑に在宅復帰することができるように、それぞれ	

策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 地域連携クリティカルパスを普及させるための取組	における診療内容、ADL等を診療計画表にしたものを運用している。 ・岡山県統一版５大がん地域連携パス がん診療連携推進病院である当院とがん診療連携医療機関が、がんの術後フォローアップを目的として連携できるよう、５大がんの種別別に術後の予定を診療計画表にしている。 ・岡山県急性心筋梗塞医療連携パス、岡山県急性心不全医療連携パス 急性心筋梗塞及び急性心不全の患者の治療経過を急性期病院と地域のかかりつけ医が共有し、より連携を密にすることにより、医療の質の向上と患者の予後の改善を目的として作成された、「安心ハート手帳」を運用している。 ②地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み ・脳卒中地域連携パス、大腿骨頸部骨折地域連携パス 岡山県内の急性期・回復期・維持期の病院で設立した「もも脳ネット」が、地域連携パスの普及等を目的として地域連携パス運用会議を開催し、地域連携パスの見直し見直しや集計等について協議しており、当院もコアメンバーとして地域連携パスの普及に向けて取り組んでいる。 ・がん地域連携パス 岡山県がん診療連携協議会の各部会等に参加するほか、院内の委員会（がん診療連携推進委員会）においてパスの普及等について協議している。また、定期的にカンサーボードを開催し、複数の領域にわたる症例について検討を行うことにより、がん診療連携医療機関の医療従事者と連携を図っている。 ・急性心筋梗塞医療連携パス、急性心不全医療連携パス 当パスの運用促進に向けて、当院の連携医療機関として連携していただけるよう地域の医療機関に働きかけており、協力医療機関と連携を開始している。
--	--